ホームページ用情報公開文書

１．課題名

腹膜透析（PD）患者における足病変の実態とフットケア導入の意義

２．背景・目的

（背景）当院では過去数年間に、PD 患者 2 名が糖尿病性壊疽および重症下肢虚血により死亡に至った症例を経験し、PD 患者における足病変の早期発見と介入の重要性を強く認識しました。PD 患者は糖尿病合併率が高く、栄養障害や血管石灰化などの要因から下肢虚血のリスクが高いとされます。一方、血液透析（HD）患者ではフットケアが比較的定着しているのに対し、PD 患者に対するフットケアの重要性に関する報告は少ない状況です。そこで当院では、PD 外来における下肢異常の早期発見を目的にフットケアを導入しました。

（目的）PD 患者における下肢虚血および足病変の実態を HD 患者と比較し、PD 外来におけるフットケア導入の意義を検討します。

3. 対象者および期間

対象となる方：2026 年 5 月時点で、当院で PD または血液透析（HD）を行っている方

PD 患者 22 名　　HD 患者 85 名

研究期間：研究許可日～2026 年 11 月 29 日まで

4. 研究の内容・方法

カルテより以下の情報を収集します。収集した情報を分析し、腹膜透析患者の足病変の実態を血液透析患者と比較し、腹膜透析外来におけるフットケア導入の意義を検討します。

収集項目：患者背景、血管病変指標、足病変の有無について比較する

患者背景→年齢、性別、糖尿病合併症の有無

血管病変指標→ABI＜0.9 の割合、EVT 又はバイパス術の既往

血管外科のフォローの有無

足病変→下肢創傷、下肢切断既往、胼胝、鶏眼、足趾や爪の変形

5. 個人情報の取り扱いについて

データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。また、研究終了後は 5 年間データ開示できるよう管理し、以降データを破棄します。

6. 研究協力の任意性と撤回の自由について

上記対象期間において該当になる方で情報の利用について不都合がある場合や本検

証に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先までご連絡ください。

7. 研究資金および利益相反について

本検証について用いる資金はありません。開示すべき利益相反もありません。

8. 実施体制

研究責任者	社会医療法人製鉄記念八幡病院	腎センター	中野和枝
共同研究者	社会医療法人製鉄記念八幡病院	腎センター	浜道賀寿美
		腎臓内科	大仲正太郎
		腎臓内科	柳田太平

9. 問い合わせ先

製鉄記念八幡病院

電話番号　093-671-9308